

2023年度（令和5年度） 自己評価結果公表シート

自令和5年4月1日～至令和6年3月31日

学校法人 敬愛学園
岸部敬愛幼稚園

1. 本園の教育目標

教育の目的は、立派な人格を持った人間を育成することです。そして、人格の基礎は幼児期に形成されます。岸部敬愛幼稚園は幼稚園指導要領と、浄土真宗の生活信条、そして親鸞聖人の精神にもとづき、すなおで明るく、やさしく、元気のよい、ほとけの子どもを育てます。

- ★ほとけさまを拝む、明るくて豊かな心を持った子ども
- ★健康で、心身ともに活動的な子ども
- ★お友だちと仲良くあそび、だれからも愛される子ども
- ★「ありがとう」と、すなおによるこび、たたえる子ども
- ★よく聞く態度と、理解力、創造力をもった子ども

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

評価項目に沿って自己点検、自己評価を実施する事によって、教職員自らが客観的に自園の建学の精神（園児、保護者、保育者が共に育ち合う）や教育目標を見つめ、教育内容の質向上に主体的に取り組んでいくことを重点目標とする

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み状況
教育課程の実践にあたり教員個々の共通理解を図る。	日頃より個々の教職員が相互に意見交換をし、園の教育目標から個々の理解がズレないようにし、カリキュラムを構築する。
幼稚園を取り巻く状況をふまえて、今後の計画を立てる。	急激な少子化、保護者ニーズの多様化、ICTの普及、労働意識の変化など幼稚園を取り巻く社会状況が変化しつつある最中であるが、子どもの育ちを健全に推進していくよう教職員間で協議する。
危機管理マニュアルの修正	文部科学省策定の「学校危機管理マニュアル作成の手引」に基づき危機管理マニュアルを確認し、必要に応じて修正を図る。また同時に学校安全計画も同様の取組みを図る。
教職員の労務管理をする	時間外労働時間が月平均1時間以内と理想的な労働環境が実践できているので引き続き継続していく。
保護者との良好な関係性を継続させる。	気になる園児の保護者と早めに、小まめに、個別に懇談の場を設けることで、園内での園児の様子を伝え、保護者の不安を解消したり受け止めたりしていく。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

取り組むべき課題について教職員一人ひとりが共通に理解し、教員相互に意見交換をすることで教育目標の達成について概ね成果を上げる事ができたと考える。経験年数の多少に関わらず相互に助け合いながら業務に当たることができ、子どもの育ちを健全に推進していく立場として大変良かったと評価する。保護者に向けては、全体的には動画配信や行事参加など出来るだけ保育内容の発信を図り保育の様子を垣間見ていただくことができた。気になる園児の保護者には個別相談や専門機関との連携などで、保護者と園が両輪となって園児の育ちを支えていくことを心がけた。今後も建学の精神を忘れずに、園児・保育者・保護者が互いに成長していく為の努力を継続して重ねていきたい。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
教員の資質向上	幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿についての学びを引続き重ねていくこと。その為に、子どもの主体性を育む環境構成や言葉がけについて相互に意見を出し合い、実践していく事を怠らない。
危機・安全管理体制	大災害を想定した様々な準備（引渡し訓練、災害備蓄品、マニュアル）の定期的な確認と見直しをする。また、ハザードとリスク行動の存在を常に意識し、危機管理サイクル（目的・目標・手段・検証）を丁寧に点検していく。
園環境の改善	敷地・園舎内の危険箇所を見つけ必要であれば直ちに改善する。築年数が経過したことによる経年劣化が疑われる設備については適宜必要に応じて入れ替えていく。
感染症対策	換気、空気清浄機等の活用、手洗い・うがいを励行し、園児・教職員の体調に気を配り、園内感染が発生しないように心がける。
保護者への情報発信	出来るだけ幼稚園の情報を発信し保護者に伝えていく *動画配信サービス、れんらくアプリ、SNSの活用 *園だより、クラスだよりでの情報発信 *個人懇談会での意見交換 *その他
支援を必要とする幼児の保育	幼児個々に応じた個別の指導計画を作成し、医療・福祉関係機関との連携を図りながら、幼児一人ひとりに沿った支援を継続していけるようにする。
熱中症対策	環境省が管理運営する熱中症予防情報サイトを日々確認し、エアコンの活用や園庭遊びの縮小などで園児や教職員が熱中症にならないよう配慮する。

6・学校関係者の評価

子ども達が健康的に笑顔で毎日通園できており学校関係者として評価します。新型コロナウイルスの規制は緩和されましたが、感染症には引き続き警戒し園児達の健康には十分留意いただきながら毎日をお過ごしいただければと思います。

- ・自己評価結果については、園業務が繁忙ななか教職員相互の協力体制で大変よく取組まれているものと拝察致します。
- ・今後の改善方策については、園児一人ひとりの安全や健康について配慮いただいているものと存じます。
- ・重点的に取り組むことが必要な目標や計画、評価項目については、子どもの育ちを支える幼稚園の立場として適切だと評価します。
- ・学校運営の改善に向けた取り組みについては、地域に必要とされる私立幼稚園としての役割を果たす方策として評価します。

「共に育ちあう」の目標通り、日常的に幼稚園、園児、保護者が三位一体となって保育が推進できているものと評価できます。日常の保育や行事では園児が主体的に取り組む様子が見られ、保護者の満足度も高い傾向にあるものと思われまます。常に教職員が怠りなく研鑽を積み、幼稚園教諭として高い向上心をもって子ども達と接する姿は高く評価します。地域に根差す幼稚園としての役割が期待される中、今後もより一層の活躍が期待されます。

7. 財務状況

毎年、公認会計士の監査を受け、適正に運営されていると認められている。